



新型コロナウイルス ワクチン 接種するみなさまへ

新型コロナウイルスワクチンを受けた人の方が受けていない人よりも、
新型コロナウイルス感染症を発症した人が
少ないことがわかっています。

(発症予防効果はファイザー社製が約95%、武田/モデルナ社製が約94%と報告されています。
アストラゼネカ社製は、海外で実施された複数の臨床試験の併合解析の結果から、
約70%等の発症予防効果が報告されています。)

大阪市では集団接種と個別接種(取扱医療機関)、
大規模接種会場で接種を受けることができます。
基礎疾患をお持ちの方は、
かかりつけ医等にワクチンを受けてよいかをご相談ください。

ワクチンを受ける前に知っていただきたいこと

大阪市で受けることができる3種類のワクチンについて、接種間隔や受けることができる接種会場が違いますので、知っておいていただきたい情報を掲載しています。(令和3年10月11日現在)

ワクチンについて



	ファイザー社製	武田/モデルナ社製	アストラゼネカ社製
販売名	コミナティ筋注	COVID-19ワクチン モデルナ筋注	バキスゼブリア筋注
種類	mRNAワクチン	mRNAワクチン	ウイルスペクター ワクチン
対象年齢	12歳以上	12歳以上	原則として40歳以上
接種間隔/回数	3週間の間隔で2回	4週間の間隔で2回	4~12週間の間隔で2回
1回投与量	0.3ml	0.5ml	0.5ml
用法	筋肉注射	筋肉注射	筋肉注射

※以下「コミナティ筋注」をファイザー社製、「COVID-19ワクチンモデルナ筋注」を武田/モデルナ社製、「バキスゼブリア筋注」をアストラゼネカ社製といたします。

ワクチン接種を受けることができない方



- 体温が37.5℃以上の方
- 重い急性疾患にかかっている方
- ワクチンの成分に対し、アナフィラキシーなど重度の過敏症の既往歴のある方
- 上記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある方

上記に加え、アストラゼネカ社製ワクチンの場合、以下の方も接種することができません。

- ワクチン接種後に血小板減少症を伴う静脈もしくは動脈の血栓症を起こしたことがある方
- 毛細血管漏出症候群の既往歴のある方

注意が必要な方

- 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある方
- 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた方
- 過去にけいれんを起こしたことがある方
- ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある方

また、新型コロナウイルスワクチンは筋肉内に注射することから

- 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある方

は、接種後の出血に注意が必要とされています。

交互接種について

1回目と2回目の接種では、同一のワクチンを接種する必要があります。ただし、下記のような場合に限り、1回目と異なるワクチンを2回目に接種すること(交互接種)は可能です。

- 1回目のワクチン接種後に重篤な副反応が生じたこと等により、医師が医学的見地から、2回目に同一のワクチンを接種することが困難であると判断した場合
 - 国内のワクチン流通の減少や接種を受ける方の転居等により、1回目と2回目で同一のワクチンを接種することが困難な場合
- 1回目と2回目の接種の間隔は、諸外国の対応状況等を踏まえ、27日以上の間隔をおくこととされています。

副反応の違い



接種後、数日以内にあらわれる可能性がある症状。

コミナティ筋注添付文書、COVID-19ワクチンモデルナ筋注添付文書、バキスゼブリア筋注添付文書より

発現割合	症 状		
	ファイザー社製	武田/モデルナ社製	アストラゼネカ社製
50%以上	接種部位の痛み、疲労、頭痛	接種部位の痛み、疲労、頭痛、筋肉痛	接種部位の痛み、疲労、頭痛
10~50%	筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ	関節痛、悪寒、吐き気・嘔吐、リンパ節症、発熱、接種部位の腫れ、発赤・紅斑	倦怠感、悪寒、関節痛、吐き気、接種部位の熱感・かゆみ
1~10%	吐き気、嘔吐	接種後7日目以降の接種部位の痛みなど(※)	発熱、嘔吐、接種部位の腫れ・発赤・硬結、四肢痛、無力症

(※)接種部位の痛みや腫れ、紅斑

- 接種直後よりも翌日に痛みを感じる方が多いです。
- これらの症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。
- 倦怠感や関節痛、発熱など、1回目より2回目の方が、頻度が高くなる症状もあります。
- 接種後すぐにアナフィラキシーや血管迷走神経反射が起こる可能性があります。

詳しくは「**接種後すぐにあらわれるかもしれない副反応**」をご参照ください。

アレルギー反応について

他のワクチンや注射薬で、(重症でなくとも)すぐにアレルギー反応を起こしたことがある時は、新型コロナワクチンを接種すべきか、**かかりつけの医師に相談してください。**

日本で承認されているポリエチレングリコールを含むワクチンは、ファイザー社の新型コロナワクチンと武田/モデルナ社の新型コロナワクチンです。ポリエチレングリコールとの交差反応性が懸念されているポリソルベートを含んでいる既に承認されたワクチンは、アストラゼネカ社の新型コロナワクチンのほか、複数存在します(※)。

(※)沈降13価肺炎球菌結合型ワクチン(プレベナー13)、インフルエンザHA ワクチン「第一三共」、組換え沈降4価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン(ガーダシル)、乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン(エンセバック)、5価経口弱毒生ロタウイルスワクチン(ロタテック)、不活化ポリオワクチン(イモバックス)など。

また、ポリエチレングリコールは大腸内視鏡検査時に下剤として使用する医薬品をはじめ、様々な医薬品に添加剤として含まれており、ポリソルベートも同様に複数の医薬品に含まれています。なお、ポリエチレングリコールは「マクロゴール」という名称で呼ばれることもあります。

(参考:日本薬剤師会「薬剤師から一般の方々に向けた新型コロナウイルスワクチンに関するFAQ」)

心筋炎・心膜炎について

ファイザー社製ワクチンとモデルナ社製ワクチン接種後に起こった症状として軽症の心筋炎や心膜炎が報告されています。1回目よりも2回目の接種の後に多く、高齢者よりも思春期や若年成人に、女性よりも男性に、より多くの事例が報告されています。国内でも、件数は稀ではあるものの、同様の報告がみられています。軽症の場合が多く、心筋炎や心膜炎のリスクがあるとしても、**ワクチン接種のメリットの方がはるかに大きいと考えられています。**

ワクチン接種後に、急性心筋炎・心膜炎が国内外で報告されていることについて、心筋炎・心膜炎の専門家は以下のような見解を示しています。

- ・軽症の心筋炎・心膜炎は治癒する病気で、仮にワクチン接種後にかかったとしても、循環器の通常の診療体制で対応できる。
- ・若年者では新型コロナウイルス感染症にかかった場合にも心筋炎になることがあり、**新型コロナウイルス感染症にかかった場合には、ワクチンを接種した場合よりも、はるかに高い頻度で心筋炎がみられる。**こうしたことから、ワクチン接種により感染の重症化予防を図るメリットの方が**圧倒的に大きい。**

数日以内に、胸痛や動悸、息切れ、むくみ等の症状があれば、すぐに医療機関を受診し、ワクチンを受けたことを伝えてください。

血小板減少症を伴う血栓症・毛細血管漏出症候群等について

ごく稀ではあるものの、アストラゼネカ社製ワクチン接種後に、血小板減少症を伴う血栓症(※1)毛細血管漏出症候群(※2)ギラン・バレー症候群などの脱髄疾患(※3)を発症した例が、海外で報告されています。接種後に次のような症状が現れたら、速やかに医療機関を受診してください。

(※1)持続する激しい頭痛、目のかすみ、息切れ、錯乱、けいれん、胸の痛み、足のむくみや痛み、持続する腹痛、接種部位以外の内出血(あざ)などの症状。

なお、これらの症状のほとんどは接種後28日以内に起きることが多く、また、2回目の接種後よりも1回目の接種後に起きることが多いです。

(※2)手足のむくみ、低血圧などの症状。

(※3)手足の力が入りにくいなどの運動障害、しびれなどの感覚障害、排尿・排便障害、目のかすみなどの視力障害。

接種会場による接種ワクチンの違い

受けることができるワクチン「○」、受けることができないワクチン「×」。



実施主体	接種会場	ファイザー社製	武田/モデルナ社製	アストラゼネカ社製
医療機関	・個別接種(取扱医療機関)	○	×	×
大阪市	・大阪市集団接種会場(扇町プール) ・大阪市集団接種会場(心斎橋BIGSTEP)	×	○	×
	・大阪市集団接種会場(やすらぎ天空館) ・大阪市集団接種会場(中央スポーツセンター)	○ (10/19~24の1回目接種)	○ (~10/17の1回目接種)	×
大阪府	・大阪府コロナワクチン接種センター (マイドームおおさか)	×	○	○
	・大阪府コロナワクチン接種センター (大阪府庁新別館接種センター) ・大阪府コロナワクチン接種センター (大阪府・大同生命接種センター)	×	○	×
国	・自衛隊大阪大規模接種センター (大阪センター)	×	○	×

※自衛隊大阪大規模接種センターに関すること(防衛省・自衛隊ホームページ)



注意していただきたいこと

- 2回目の接種は、原則として1回目に受けたワクチンと同じ種類のワクチンを受けてください。
- 1回目の接種から2回目の接種が、**ファイザー社製は3週間を、武田/モデルナ社製は4週間を超えた場合には、**できる限り速やかに2回目の接種を受けてください。
- アストラゼネカ社製は最大の効果を得るためには、**1回目の接種から2回目の接種を**8週以上の間隔をおいて接種することが望ましいとされています。**
12週間を超えた場合には、できる限り速やかに2回目の接種を受けてください。

ワクチンを受けた後に気をつけていただきたいこと

ファイザー社製、武田/モデルナ社製、アストラゼネカ社製いずれも
接種を受けた後に副反応があらわれることがあります。

接種後すぐにあらわれるかもしれない副反応

ショック、アナフィラキシー

接種直後から通常30分以内に起こる重度のアレルギー反応です。

次のような症状や何か異常を感じたら、ただちに、接種会場の医師、看護師に伝えてください。

体の部位	自覚症状
全身	冷や汗が出る、ふらつき
頭部	めまい、意識の消失
顔面	顔面蒼白(がんめんそうはく)
口や喉	喉のかゆみ

体の部位	自覚症状
胸部	動悸(どうぎ)、息苦しい
手・足	手足が冷たくなる
皮ふ	全身のかゆみ、じんま疹

血管迷走神経反射

ワクチン接種に対する緊張や痛みなどをきっかけに

誰でも起こりうる体の反応で、立ちくらみや血の気がひく(時には気を失うこともある)ような症状があらわれます。通常、横になって休めば自然に回復します。



お願い

接種を受けた後、15~30分程度は接種した医療機関(会場)の施設内等で、椅子に座り体を休めてお待ちください。接種後30分以上経過した後も起こることがあります。

お待ちいただいた後でも上記のような症状や、いつもと違う体調の変化や異常を感じた場合は、速やかに接種を受けた医療機関等の医師や看護師、あるいはかかりつけ医に連絡してください。夜間や休日の場合、下記へご相談ください。

大阪府新型コロナウイルスワクチンに関する専門相談窓口

TEL 0570-012-336 (24時間・土日祝も対応)

または

TEL 06-6635-2047 (24時間・土日祝も対応)

聴覚障がいのある方は
以下の番号までFAXにてご相談ください。

大阪府新型コロナウイルス
ワクチン専門相談窓口

FAX 06-6641-0072

接種日以降にあらわれるかもしれない副反応

接種日以降にあらわれる主な副反応として以下の症状が報告されています。

注射部位症状

注射部位の痛み・腫れ(硬さ)・発赤、
注射した同じ腕側のリンパ節(わきの下あたり)の痛み・
圧迫した時の痛み・腫れ

全身症状

発熱・頭痛・疲労・筋肉痛・関節痛・
はき気・嘔吐・悪寒・倦怠感

- 注射部位症状は、接種された方の約9割の方に何かしらの症状があらわれることが報告されています。
- 2回目の接種をした後にあらわれる場合では重めの症状が多くなる傾向があります。
- また、ファイザー社製、武田/モデルナ社製では、高齢者より非高齢者に多い傾向があります。
- 全身症状も、1回目より2回目の接種後にあらわれる場合では重めの症状が多くなる傾向があります。
- 全身症状の多くは軽く、1~3日で消失しますが、高熱やけいれん等の異常な症状があらわれた場合は、速やかに医師の診察を受けてください。

予防接種 健康被害救済制度

万が一、新型コロナウイルスワクチンによって健康被害が生じた場合には、
国による制度があります。

お住いの区の保健福祉センターへご相談ください。

